

---

# バカ二人の異世界放浪

もち

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バカ二人の異世界放浪

### 【Nコード】

N8462Y

### 【作者名】

もっち

### 【あらすじ】

バカ二人が異世界に旅立つ話。

処女作です。行きあたりばったりでへたくそですが頑張りたいです！  
生ぬるい目で見守ってください！

始まり（前書き）

頑張るッス！

## 始まり

「はあ・・・はあ・・・」

朝。

少し肌寒い風が吹いている中で同じ学生服を着ている二人の男が走っている。

「やばいぞっ彰アキラ！残り三分切った！！」

茶色の髪を目にかかる位まで伸ばしている長身の男が腕時計を見ながらが叫ぶ。

「うるせえっ！！無駄口叩くよりも走れ翔しょう！！」

黒髪短髪アキラの彰と呼ばれた男が叫び返す。

二人は今とても焦っていた。

三十分前。

とある学生寮。

服や漫画などが散らかっている部屋の窓際にあるベッドで黒髪の男が寝ていた。

男の名前は井田いた 彰あきら

今日で高校二年になる。

黒髪短髪で多少整った顔立ちをしているが強面。身長170センチ前後。ボクサーのように鍛え上げられた体つきをしている。

「(ムク)……………」

突然上半身をあげ部屋の壁に掛けてある時計を見る。

8時12分。

朝のSHRが始まるのは8時30分。

この学生寮から校舎まで約20分。

遅刻である。

「……………やばっ!!!!」

彰は飛び起きクローゼットを開け中に掛けてある学生服を取り出して着る。

「起きろ!!翔!!」

そして隣で寝ているルームメイトを起こすため怒鳴る。

彰の反対にあるドア側のベッドで茶髪の男が幸せそうに眠っていた。

彼の名前は長谷川 翔(はせがわ 翔)

彰と同じ高校二年。

彰のルームメイトで同じ部屋に住んでいる。

彰より少し高い身長で180センチ前後で細身。

此方も整った顔立ちをしており彰とは違い穏和な目つきをしている。

「ふあゝあ、なんだよ彰いきなり怒鳴ってどうした？」

「どうしたじゃねーよ！！時計見る！！」

彰は怒鳴りながら時計を指差す。

その指を追うように翔は時計を見る。

8時15分。

さっきより3分進んでいる。

「遅刻だ——！！！！！！」

始まり(後書き)

怖いよゝ小説書くって怖いよゝ(泣)

## 1話(前書き)

なかなか異世界行けません(・|・;) )

## 1話

時間は戻り二人は走っている。

「クソお！始業式から遅刻何て洒落にならねえ！！」

翔は額から汗を流し文句を言いながら走っている。

すると前から二人とは違う学生服を着ている男4、5人が二人の前に立ち道を塞ぐ。

そして走っていた二人は足を止める。

「はあっ・・・はあっ・・・何だお前ら？」

彰は息を切らし睨みながら男達に尋ねる。

すると男達の一人が彰の目つきの悪さに多少引き気味に答える。

「お前らが井田彰と長谷川翔だな？」

「・・・だつたら何だよ？」

翔も相手を睨みながら（彰ほど迫力はない）答える。「先週お前らにウチの者が二人ボコボコにされたんでなあ？お返しをしに来たつてわけよ？」

よく見ると後ろの方に立っている二人の内一人は顔に痣がありもう一人は頭に包帯を巻いている。

そして彰と翔は

「（・・・全っ然覚えてねえ！！・・・）」

綺麗さっぱり忘れていた。

二人はよく喧嘩をしている

理由は彰の目つきだ。

彰の鋭い目つきでは、ただチラ見をしただけでも相手からは睨まれているとしか思えない。

だからよく絡まれる

そして彰といつも行動している翔も巻き込まれる

しかもそれが日常茶飯事である。

そのせいか近頃では彰も翔も「不良」として周りに知られている

「はぁ・・・だるい」

「はぁ・・・まったくだ」

ため息を吐く彰

それに同意する翔

そしてこの状況でも余裕な態度でいる彰と翔に不良達は苛立ち

「死ねやー！！！！」

不良達は彰と翔に向かって走り出す

「やるしかねえか・・・」

「・・・だな・・・めんどくせえけど」

「8時32分・・・はあ〜完璧遅刻だ。」

「マジかよ！？まーた説教だなこれ」

彰が携帯電話を開き

待受画面に表示される時刻を呟くとそれを聞いていた翔が落胆しながら答える

「しょうがねえな、裏から入って屋上で寝ようぜ？」

「・・・だな」

翔が尋ねると彰はそれに同意し二人は歩きだした

その後ろには不良達が呻き声をあげながら倒れていた

1話（後書き）

彰と翔が分かりにくい！（TOT）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8462y/>

---

バカ二人の異世界放浪

2011年11月25日05時49分発行